

2022年度
第15回六級海技士（機関）短期養成科 募集要項

—機関士・機関長への道—

機関士や機関長となるために、社会人をはじめ高等学校卒業した方や同等の能力を有する18歳以上を対象にしたコースです。

授業は座学と社船実習（民間の商船）を効果的に組み合わせ、海運業界が求める専門技術や即戦力化に対応した「民間完結型の六級海技士（機関）養成制度」を導入して行います。

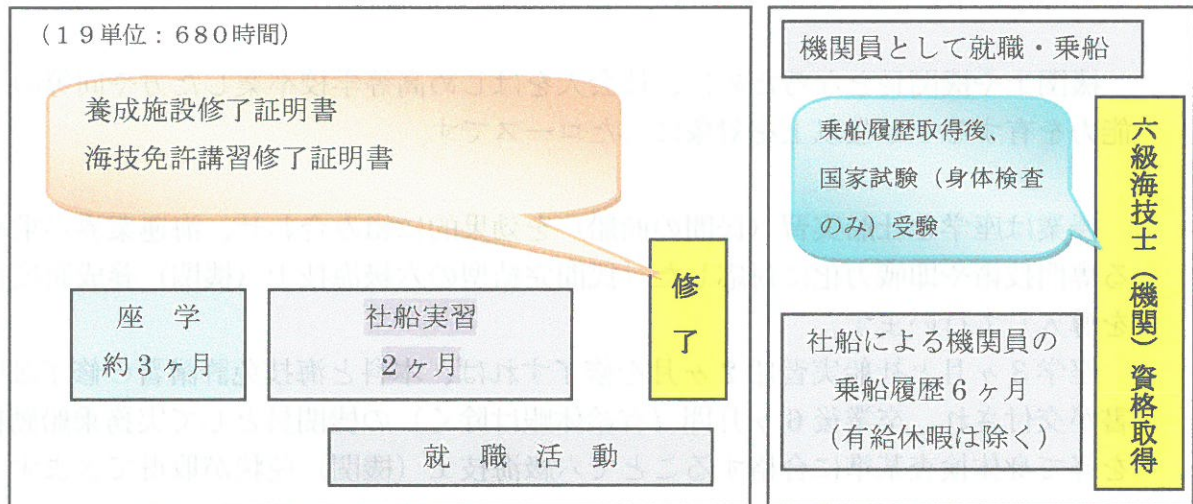
座学3ヶ月と社船実習船2ヶ月を修了すれば、本科と海技免許講習の修了証明書が交付され、卒業後6ヶ月間（有給休暇は除く）の機関員として実務乗船勤務を経て身体検査基準に合格することで六級海技士（機関）免状が取得できます。



1. 募集課程・定員・履修期間

募集課程	定員
六級海技士（機関）短期養成科	15名

2. 履修方法 講習期間：2022年11月1日～2023年4月21日（予定）



座学の約3ヶ月は尾道海技学院で実施する。

社船実習の2ヶ月は民間の商船（実習船として認められた船舶）で教員（指導員として認められた船舶職員）の指導により実施する。

3. 入学資格 受講開始日までに18歳に達し、入学試験に合格した者

4. 特典

- ・在講中に海技免許講習（必須）が受講できる。
- ・卒業後、6ヶ月の乗船勤務履歴（有給休暇は除く）で六級海技士（機関）の受験資格が得られ、筆記試験免除で身体検査のみ受験し、合格すれば六級海技士（機関）免状が取得できる。
- ・船員の「公共職業訓練等」の制度が利用できる。離職後雇用保険受給資格のある者は、公共職業訓練等の指示を受けることによって、受講中に失業保険や技能手当等の受給が可能。
- ・教育訓練給付制度（厚生労働省）指定講座（受講の為に支払った訓練経費の給付）
※詳細は最寄りのハローワークにご相談ください。
- ・五級海技士（機関）の筆記試験が受験できる（選択）。

5. 出願手続き：本講習は入学試験に合格しないと受講できません

(1) 出願書類

- ①入学願書 所定の願書を使用すること。
- ②健康診断書 所定の診断書を使用し、医師の診断を受けること。
- ③写真5枚 3 cm × 3 cm (最近3ヶ月以内に撮影・上半身脱帽正面)
※いずれも裏面に氏名・生年月日を記入し、1枚は入学願書に貼り付ける。
- ④最終学歴校の卒業証明書または成績証明書 (卒業証書のコピー可)

(2) 入学選考料：30,000円

振込先：三井住友銀行 尾道支店

普通口座 0725650

(名義) 一般財団法人尾道海技学院 尾道海技大学校

(3) 出願方法

上記の出願書類を入学願書在中封筒に入れて、出願期間内必着で送る。
入学選考料振込の控え(コピー)も同封のこと。

出願期間 2022年8月25日～2022年9月21日(必着)

(4) 出願上の注意

- ①入学願書は、本人自筆により楷書ではっきり記入のこと。
- ②提出書類は、黒のボールペンまたは黒のペンを使用のこと。
- ③一度受理した出願書類及び選考料は、理由の如何を問わず返還しない。
- ④最少催行人数に達しない場合は、開講しない。

6. 入学試験

- ①入学試験日 2022年9月27日(火) 10時
- ②試験内容 10時より筆記試験(小論文含む)に引き続き面接試験
- ③試験会場 一般財団法人 尾道海技学院(予定)
広島県尾道市栗原東二丁目18番43号
※都合により別会場になる場合があります。

7. 合格発表・入学手続き

- ①合格発表 9月30日に発送予定
- ②手続き 合格者に別途案内する

8. 入学式

2022年11月1日（火曜日）10時より

詳細は合格者に別途案内する

9. 学費等：427,000円（税込）

《内訳》

授業料	253,980円
実習費・資格費	
（校内・社船実習）	80,000円
（免許講習費）	38,680円
教本・教材費	26,840円
保険料付保費	27,500円

（注）別途費用

①実習に必要な作業服等 9,500円

②乗船実習のための移動費 35,800円（船賃）

③社船実習時の食費

80,000円（2ヶ月分）

④宿泊費

学生寮の場合は約331,200円（朝夕2食付・3ヶ月分・定員有）

⑤五級海技士（機関）受験料 約9,000円

10. 講習実施機関・お問い合わせ

一般財団法人 尾道海技学院 海技部

電話 0848-37-8111